

La Movado

Fondita en 1951 N-ro 784 junio 2016

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO
Tohurō minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU
Niihamatyō 2-4-18, Marugame-si, Kagawa-ken 763-0063,
KOSAKA Kiyoyuki



第64回関西エスペラント大会に参加しよう

6月18日(土)～19日(日)に泉北高速線泉ヶ丘駅近くの「ビッグ・アイ」(国際障害者交流センター)で開催する第64回関西エスペラント大会では、多彩な番組を用意して皆さんをお待ちしています。実行委員会では、参加してよかったと思えるような大会になるよう、全力で取り組んでいます。主な番組の企画趣旨や最新情報をお知らせしますから、参加申込みがまだの方もぜひご参加ください。

シンポジウムのねらい

6月18日の公開シンポジウム「地球時代の交流言語」では、英語偏重の現状のなかで民衆の交流言語としてのエスペラントの可能性を示したいと考えています。公正な国際言語秩序は、どの民族にも属さない計画言語と異なる言語を学び合う多言語主義にあると考えられるので、言語問題を考えるシンポジウムを企画しました。

政治理論を専門とする岡崎晴輝さん(九州大学)には、専門の立場からの議論を期待しています。岡崎さんは3月に「エスペラント語の政治理論」(共著、『政治研究』第63号、1～32頁)という論文を公刊し、欧米の現代政治理論における国際語をめぐる

ENHAVO

第64回関西エスペラント大会に参加しよう - 寺島 俊穂 1-2	
初心者のための語尾なし単語の使い方 (42) - 相川 節子 2	
楽しい作文教室 (59).....塚本 猛 3	
Kajero libervola: La unua hajko en Esperanto	
..... HIROTAKA Masaaki 4	
書評: En Flandraj Kampoj..... 伊藤 俊彦 5	
対訳 御伽草子集: 一寸法師 (3)..... belmonto 6	
ジャンボリーを機に思うこと (5)..... 堀田 裕彦 7	
相関詞の末尾の“-o, -a”は語尾か、語根の一部か? (1)	
..... 田熊 健二 8-9	
Junuloj iniciatis kaj gvidas..... Albert Garrido 10-11	
サハリン訪問 (有料広告)..... 11	
Katastrofo! Tertremego!..... HARADA Tsukuru 12-13	
La Movado: 岡山で春の園遊会、ロンドの年次総会..... 13	
Vortkruca enigmo / 作文教室課題..... 14	
Mikspoto / KLEG 事務局だより / 作文教室成績..... 15	
計報: 飾森すみさん..... 15	
編集ノート..... 16	

寺島 俊穂(第64回関西エスペラント大会実行委員会)

論争を取り上げ、その内容を精査したうえでエスペラントを擁護しています。計画言語や言語権に関する優れた論文を数多く発表してきた、かじや・ひでのりさん(津山工業高等専門学校)には、計画言語論の視点から、エスペラント運動の視野を広げる議論を期待しています。高校や地域でエスペラントを実践してきた北川郁子さん(神奈川県立多摩高校/川崎エスペラント会)には、英語教師としての経験や長年のエスペラント活動をふまえた議論を期待しています。

参加者との討論も含め、エスペラント運動にとって意義ある問題提起ができればと考えていますので、ぜひご参加ください。

エスペラント講演について

6月19日の午前中のエスペラント講演では、Salikh Zakirovさん(ソフトウェア エンジニア)に「多言語主義と私の多言語体験」というテーマで、多言語主義の理論とご自身の多言語体験について講演していただきます。現在、日本においても多言語社会化が進行しているので、多言語主義を考える貴重な機会になると、期待しています。

フィリピンから招待する Alberto Garrido さんには「フィリピンのエスペラント運動」というテーマで講演していただく予定です。フィリピンのエスペラント運動を担う、若きエスペランチストの弁論にご期待ください。堺の歴史については、私が「自由都市・堺の歴史と風土」というテーマで講演します。(p.10 参照)

協力・対等・創造

今大会では、大会テーマ「協力・対等・創造」を実践することもめざしています。6月19日午後に上演する長谷川テルに関する朗読劇は、日中友好協会大阪府連合会、劇団息吹などの団体と協力して実施する、画期的な試みです。出演者には、劇団に所属する実力俳優のほか、富田林エスペラント会の会員や大本の若い大学院生も含まれ、スタッフ、配役、広報なども文字通り協力して準備を進めています。日中友好協会大阪府連合会のほうでも参加者を募っていただき、一般の方にもエスペラントを知ってもらいたいと考えています。

公開講演会では、早稲田大学教授でエスペランチストの向後千春さんが、いま大ブームとなっているアドラー心理学について講演します。人類の幸福を希求して国際語を造ったザメンホフの思想を、他者を対等な人格として信頼し、人類社会に貢献することに人生の意味を求めたアドラーの思想と結びつけ、私たちに希望と勇気を与えていただくとともに、国際語思想の現代的意義を考える機会になることも期待しています。

分科会としては、6月18日には「気功教室」、「≪ジャンボリーを機に思うこと≫を深掘りする」、「宮本日エスのデジタル化協力者募集」、「Gaja Vespero での歌・練習会」、6月19日には「JESA・JEMA 分科会(科学者・医学者分科会)」、「囲碁分科会」が開かれ、「お茶席」が設けられます。

関西大会を機に新たな活動に踏み出し、エスペラント文化を創造していきましょう。多くの方に参加していただけたら、幸いです。

初心者のための

語尾なし単語の使い方(42)

相川 節子

前置詞(22) po

日本語の「～ずつ」に相当する前置詞です。ただ、わたし個人の経験では、実際の会話や文通で使うことがほとんどありません。使いこなせなくても別に困らないと言ったら、言い過ぎでしょうか。

Metu po tri seĝojn ĉe ĉiu tablo.

(机一脚につき椅子を三脚ずつ置いてください)

La infanoj ricevis po du pomojn.

(子どもたちはリンゴを二個ずつもらった)

一例目は po がなくても通じます。二例目は Ĉiu infano ricevis du pomojn. とすれば po を使わなくても同じ意味を表現できます。po が絶対必要だという状況は少ない。だからあまり使用例を見ないのだと思います。

ここで、あれ?と思った方がおられるかもしれません。前置詞に続く名詞は、移動を示す以外は原則として主格のはずなのに、なぜ seĝo や pomo が対格になっているのかと。

実は、ザメンホフの用例はほぼ全部主格です。ま

た小坂狷二著「前置詞略解」の po の項にも、主格を使うべきだと書いてありますので、po に続く名詞は主格にするのが本来の用法なのです。しかし先にあげた例文のように、対格を使う例もけっこうありますので、「主格・対格どちらの形も使われています」というのが結論です。

対格が使われている場合は、「前置詞 po は直後の数詞にだけかかっている、そのあとの名詞には影響しない」と解釈できます。(『エスペラント単語練習帳』p.174 参照)

po が副詞句の一部として使われることもあります。

Prenu la medikamenton po du piloloj post ĉiu manĝo.

(この薬は、毎食後に2錠ずつ飲んでください)

Nun mi legas la libron po tri paĝoj ĉiutage.

(今、この本を毎日3ページずつ読んでいます)

po du piloloj と po tri paĝoj が副詞句です。でもやっぱり、po を使わなくても他の言い方で間に合いそうですね。

余談ですが、「錠剤を飲む」に trinki を使うのはまちがいです。trinki は液体を飲む場合にしか使えません。



①彼らは相場についてのおしゃべりを続けた。

【訳例1】Ili daŭrigis la babiladon pri kurzo. (水渡)

【訳例2】Ili daŭrigis babili pri kurzo. (ikona, festo)

【訳例3】Ili daŭrigis babili pri la kurzo. (ヒー坊, M.H.)

相場: kurzo。

kurzo (相場) は、取引所 borso などで売買される商品・株式などの価格です。kurzo de akcioj (株式相場)、kurzo de nafto (原油相場) などがあります。売買の注文状況により価格が決まっていく仮想の場所が merkato (市場、取引) です。

「おしゃべり」は、くちかずが多いこと、あるいは雑談ですから、babili (雑談する) が使えます。動作の場合は babilado (おしゃべり) にします。彼らは babilema (おしゃべりな) 人達かも知れませんが、babilaĉi はしゃべりちらす、trababili はしゃべって過ごすことです。

「続ける」ですが、daŭri (続く) は自動詞なので、daŭrigi (続ける) と他動詞にします。この場合の目的語は、通常、名詞です。推奨はできないのですが、不定詞を使うこともあり、その意味上の主語は daŭrigi の主語と同じです。

②今日のドルの相場は 114 円だ。

【訳例1】La hodiaŭa kurzo de dolaro estas 114 jenoj. ([綴り修正] festo)

【訳例2】Hodiaŭa kurzo de la usona dolaro estas cent dek kvar enoj. (M.H.)

【訳例3】Hodiaŭ, la kurzo de 1 usona dolaro estas 114 enoj. (水渡)

「ドル」は dolaro です。カナダ (Kanado)、合衆国 (Usono)、オーストラリア (Aŭstralio) などで使われています。cento (セント) は、ドルやユーロ (eŭro) などの 100 分の 1 です。訳例 2 では「米ドル」であることを明示しています。

kurzo はこのように、ある通貨の価値を、他の通貨で表現する場合にも使います。varia kurzo (変動相場) では fali (下降する) や altiĝi (上昇する) があります。1ドルが 108 円になれば、「ドルが下がった」が適切でしようが、日本では「円」について話すことが多い

ため「円が上がった」と言います。ちょっと混乱しますね。

③ユーロの為替レートは 125 円だった。

【訳例1】La valuta kurzo de eŭro estis cent dudek kvin enoj. (Orion)

【訳例2】La valuta kurzo de eŭro estis 125 enoj. (Eiko, ヒー坊)

【訳例3】Valuta kurzo de eŭro estis 125 jenoj. (ikona)

為替レート: valuta kurzo。

valuto は一定の地域で流通する通貨のことです。紙幣や貨幣、利札 (クーポン) も含みます。金本位制の場合は金に対する紙幣の価値でもあります。「為替レート」は「外国為替相場」のことですから、valuta kurzo (通貨の相場) と明示しています。通貨の交換と考えれば interŝanĝa kurzo (交換の相場) でもいいでしょう。外国為替の組合せには、「米ドル/円」以外に「ユーロ/円」や「ユーロ/米ドル」などもあります。

数詞の 10 の位と 100 の位は 1 単語で dudek のようにしますが、他は分けて書きます。100 は unu cent ではなく cent です。桁数が多い場合は算用数字のほうが簡単ですが、数詞の場合の書き方も覚えておくほうがいいと思います。また、通貨単位 eŭro や eno には複数形がありますので、複数にするのを忘れないようにしましょう。

④私は本代 210 ユーロを払った。

【訳例1】Mi pagis ducent dek eŭrojn por la libro. (Orion, Fumi)

【訳例2】Mi pagis 210 eŭrojn por la libro. (Eiko, ヒー坊, ikona, CA)

【訳例3】Mi pagis 210 eŭrojn pro libroj. (AG)

「本代」は、特定の本か、何冊かも明示されていません。以前の話しに出た本だとすれば por la libro ですし、1冊にしては高すぎると思ったら libroj にしてもいいでしょう。

「払う」には、訳例のように pagi ion por io が使えます。訳例のように前置詞は通常 por ですが、pro もあり得ます。また、pagi の目的語を購入物にして pagi libron per eŭroj にすることも考えられます。しかし、支払い方法と購入物の両方を対格にしたり、全てを前置詞だけで示すことはできません。

成績は p.15、新しい課題は p.14

最初にエスペラントで原作俳句を書いたのは誰か。古い書籍や雑誌を調べた結果を報告します。

Kiu verkis la unuan hajkon en Esperanto? Temas pri hajko verkita originale en Esperanto. Por respondi la demandon oni devas traserĉi malnovajn librojn kaj gazetojn. Antaŭ kelkaj jaroj mi trafoliumis ses volumojn de la fotorepresita Literatura Mondo (1922–1949). Kaj lastatempe mi trafoliumis preskaŭ ĉiujn numerojn de La Revuo Orienta eldonitajn dum la periodo inter 1920 kaj 1940. Povas esti, ke mi pretervidis iujn atentindajn alineojn, sed mi ja rikoltis kelkajn raportindaĵojn.

La unua traduka verko aperis en 1930. En la aprila numero de tiujara Revuo Orienta *ITOO Saburoo* [1902–1969], sub sia alia plumnomo *KOIZUMI Kijoŝi*, publikigis kvar esperantigitajn hajkojn de Baŝoo kaj Issa. Mi citas unu el ili:

Ĉe nuda branĉo
Ja korvo venis nun,—
Ho, fino de aŭtun! (Baŝoo)

Li tradukis la hajkon en tri versoj, sed per 5, 6, 6 silaboj. Li uzis eĉ kvar versojn por traduki alian pecon. Li do ne havis difinitan ideon pri fiksita formo de la hajko en Esperanto.

En 1931, en la libro “Eterna bukedo”, *KALOĈAJO* [Kálmán Kalocsay, 1891–1976] publikigis naŭ esperantigitajn hajkojn de ses japanaj hajkistoj. Mi citas unu pecon de Baŝoo:

Lag' forlasita,
Kaj muta. Plaŭd', Ensaltis
Rano subita. (Baŝoo)

En ĉi tiu verko li klare montris fiksformon de la esperanta hajko. Nome hajko konsistas el tri versoj de 5, 7, 5 silaboj. Kaj li rimligas la unuan kaj trian versojn. Sed li ne atentis sezonvorton nek tranĉon.

En 1933, en la decembra numero de Literatura Mondo, *VARINGJENO* [Gaston Waringhien, 1901–1991] prezentis ses tradukitajn hajkojn de tri japanaj hajkistoj. Ankaŭ li prenis la saman fiksformon kiel *KALOĈAJO*. La du grandaj esperantaj literaturistoj donis al la hajko en Esperanto firman bazon de fiksforma poemo, kiu multe influis postajn verkistojn.

En 1934, en la maja numero de La Revuo Orienta, *TADA Cuja* [1902–1992] publikigis sub la titolo “Printempo” siajn kvin hajkojn originale verkitajn en la japana kaj esperantigitajn de ŝi mem. Mi citu unu pecon:

Printemp'vaporoj!
Min ĉirkaŭas en ĝarden'
herbaodoro. (Cuja Tada)

Ŝi verkis ĉiujn hajkojn per tri versoj, principe, de 5, 7, 5 silaboj. En ŝiaj tradukoj oni povas klare observi ideon pri “tranĉo”, kiu ne troviĝis en *KALOĈAJO* kaj *VARINGJENO*.

En 1936, en la novembro numero de La Revuo Orienta, *ŜIROUĈI Ĉuuiĉiroo* [1905–1985] publikigis sub la titolo “Sur la Vojo” siajn naŭ hajkojn originale verkitajn en Esperanto. Mi citas unu el ili:

Apud Tojohaŝi
Floras en purpur'
Sur verdaj, verdaj kampoj
Astragaloj nur. (Ĉ. Ŝirouĉi)

Liaj hajkoj temas pri vojaĝimpreso kaj saluto. Ili do estas ne tiel poeziaj sed banalaj. Ĉiuokaze, laŭ mia ĝisnuna esploro *ŜIROUĈI* estas la unua aŭtoro, kiu verkis originalan hajkon en Esperanto.

Cetere mi rimarkis, ke la japanaj aŭtoroj estis junaj, kiam ili publikigis sian verkon en la revuo. *ITOO* estis 27-jara, *TADA* 32-jara kaj *ŜIROUĈI* 31-jara. La antaŭmilita Esperantomovado en Japanio estis ja vigla pro tiuj junuloj.

In Flanders Fields / En Flandraj Kampoj

伊藤 俊彦 (愛知県)

Herwig Verleyen 著、Flandra Esperanto-Ligo、
2014年刊、70p、1500円、KLEG 取扱

昨年、Monatoで“*In Flanders Fields*” (“*En Flandraj Kampoj*”) という本の広告を何度か見かけた。表題になっている“*In Flanders Fields*” (“*フランダーズの野に*”) は、第一次世界大戦から生まれた最も有名な詩だそう。私はこの詩も、作者のジョン・マクレーも全く知らなかったが、気になって入手、一読し感動したので、本書の内容や感想を記してみたい。なお、この詩が生まれたイーブルは、昨年の世界大会の開催地であるリールに近い、ベルギーのフランドル地方の都市である。

本書の原著はブリュージュ在住の著者によってオランダ語で書かれ、1992年に刊行。本書は、Lode Van de Veldeの手になるそのエスペラント訳である。マクレーの経歴、上記の詩が生まれた経緯、その後の反響などが簡潔に記述されている。また、十字架や墓碑が立ち並ぶ戦没者墓地や、当時の塹壕などの写真が多数掲載されていて、胸がしめつけられる。第一次世界大戦は日本人にはなじみがないが、ヨーロッパ諸国を巻き込み、甚大な被害を生み、次代を担う若者たちを次々と倒した「大戦争」(the Great War)であった。

さて、マクレーは1872年に、当時イギリスの自治領だったカナダに生まれ、大戦では軍医として働き、1918年に戦病死した。1914年8月、ドイツ軍がパリを攻略するためベルギーに侵略し、以来、イーブル近郊で3度にわたりイギリス軍を中心とする連合軍と激しい戦いを繰り返した。1915年4月、ドイツ軍が初めて毒ガスを使用したことで知られる第2次イーブルの戦いの際、彼は野戦病院で負傷者の治療に当たっていた。年少の友人が戦死して、その葬儀を済ませたのちの5月3日に書いたとされるのが“*In Flanders Fields*”で、1915年12月8日にイギリスの週刊誌『パンチ』に掲載されるや、その修辞の力によって兵士たちやその家族たちの絶大な共感を呼び、イギリス、イギリス連邦、アメリカなどで有名になった。

この詩の語り手は死者である。ここでは全部を引

用する紙幅がないが、彼は「ぼくたちは数日前には生きていて、夜明けを感じ、夕日を眺め、愛し、愛されたのに、今ではフランダーズの野に横たわっている。(中略)君たちがぼくたちとの約束を守ってくれないなら、ぼくたちは眠れない」と訴える。それでは、その約束とは何か。自分たちを殺した敵に勝利してほしいということなのか。実際、この詩は発表後、戦意高揚、あるいは戦費調達のためのプロパガンダとして大いに利用されたそうである。

しかし、当然ながら、そのように利用されたからといって、作者の真意もそこにあったとは即断できない。とりわけ問題になるのは第三連の冒頭で、原詩では、“*Take up our quarrel with the foe*”とあるところを本書では“*Malamikojn sendu al la morto*”と訳している。これに対して、小沼通二は、この箇所作者の隠された思いを見てとり、「敵との戦いを終わりにしよう」と訳している(『戦没者を偲ぶ』、『図書』2015年11月号)。いずれの解釈が正しいのか、作者がひそかに両義的な意味合いを込めて書いたのか、私には判断できないが、人生の半ばで生を断ち切られた者の無念を、読者がそれぞれの観点から受け止め、解釈することは許されるだろうと思う。

イーブルは激戦地の代名詞となり、人々に大きな衝撃を与えた。この詩は、戦いのあと、血のように赤いヒナゲシの花が地表を埋め尽くし、そのあいだに戦死者の無数の墓標が立ち並ぶ情景を描いている。この詩に感動して、アメリカ、イギリス、イギリス連邦では、1921年から11月11日の戦没者追悼記念日に造花のヒナゲシを胸につける慣わしとなり、この日もポピー・デイと呼ばれるようになった。そうした経過も本書で知ることができる。

第一次世界大戦から百年以上が経過した現在でもなお戦争はなくならず、世界のあちこちで無数の人々が理不尽に殺戮されている。本書を読みながら、私はそうした無数の死者たちの無言のまなざしを強く感じた。軍事用語や、なじみの少ない史実、地名が頻出するため、読みやすいとはいえないが、それでも本書がエスペラントで読めるのは幸いである。

なお、本書には、訳者によるこの詩の訳とともに、2009年にアメリカの雑誌に掲載された4人の翻訳者によるエスペラント訳も収録されていて、原詩と比較対照すると興味深い。

La Colulo (3)

el "Otogi-zaŭŝi", 14a – 17a jarcento
tradukis **belmonto (yamasita tosihiro)**

Unu el ili portis la ĉioelfaran marteleton.
Jen la alia diris:

"Ni englutu la etan, kaj akiru la filinon!"

Ĝi englutis Colulon per buŝo, kaj ho, li
aperis el ĝia okulo! La onio diris:

"Ve, ĉi tio estas strangulo! Kiam mi fermas
mian buŝon, ĝi elvenas de la okulo!"

Kiam ajn onio englutis lin, ĉiam ajn li
ŝprucis el ĝia okulo, do fine onioj timis ĉi tian
situacion.

"Ĝi estas la stranga vivaĵo! Ŝajnas, ke
kvazaŭ okazintus tumulto en la narako*. Jen,
jen, ni forkuru!"

Postlasante tiujn vortojn, ili forrapidis
kun apenaŭa kuraĝo en la sanktan direkton
nord-okcidentan, tre malluman, de sukavato*,
kaj forĵetis ĉion kunportintan, eĉ ĉioelfaran
marteleton, bastonojn, kaj vipojn.

Colulo, rigardante la restaĵojn, unue
proprigis la ĉioelfaran marteleton kaj tambur-
martelis pum! dirante:

"Mi estu alta!"

Kaj jen li fariĝis alta. Ĝis tiam ili jam
veturis longan vojon, do nun malsato
turmentis ilin. Kiam li volis pladojn da kuirita
rizo per martelet-tamburado, tiam ili aperis
de ie en plena bongusto. Tiel venis la mirinda
fortuno.

Post tio, li elfaris ormonerojn kaj arĝent-
monerojn, kaj supreniris al la ĉefurbo kun la
fraŭlino, kaj loĝis ŝajne en la kvina kvartalo.

Pasis ĉirkaŭ dek tagoj; lia rakonto famiĝis
inter ĉiuj urbanoj, kaj eĉ Lia Moŝto aŭdis pri li.
Li urĝe vokis Colulon al la palaco, kaj inspekte
rigardis lin.

(daŭrigota)

*narak/o = infero en budhismo.

*sukavat/o = paradizo en budhismo.

一寸法師 (3)

御伽草子集より

一人は打出 (うちで) の小槌 (こづち) を持ち、いま一
人が申すやうは、

「呑 (の) みて、あの女房取り候はん」と申す。

口より呑み候へば、目の内より出でにけり。鬼申
すやうは、

「これはくせものかな。口をふさげば、目より出
づる」。

一寸法師は、鬼に呑まれては、目より出 (い) でて
飛び歩きければ、鬼もおちをののきて、

「これはただ者ならず、ただ地獄に乱こそ出で来
たれ。ただ逃げよ」と言ふままに、

打出の小槌、杖 (つゑ)、しもつ、何に至るまでう
ち捨てて、極楽浄土の乾 (いぬぬ) の、いかにも暗き
所へ、やうやう逃げにけり。

さて、一寸法師は、これを見て、まづ打出の小槌
を濫妨 (らんぼう) し、

「われわれが背 (せい) を、大きになれ」とぞ、ど
うど打ち候へば、

程なく背大きになり、さて、このほど疲れにのぞ
みたることなれば、まづまづ飯 (めし) を打出 (いだ)
し、いかにもうまさうなる飯、いづくともなく出で
にけり。不思議なるしあはせとなりけり。

その後、金銀 (こがねしろかね) 打出し、姫君とも
に都へ上 (のぼり)、五条 (ごでう) あたりに宿 (やど) を
とり、

十日ばかりありけるが、このこと隠れなければ、
内裏 (だいり) にきこしめされて、急ぎ一寸法師をぞ
召されけり。すなはち、参内 (さんだい) つかまつり、
大王御覧じて、

(つづく)

ジャンボリーを機に思うこと (5)

堀田 裕彦 (大阪府)

【20】来日エスペランチストの情報を共有する

KLEG には、IETK という来日エスペランチスト情報を連絡しあうメーリングリストがあります。宛先は KLEG 所属地方会や近隣の協力者です。旅程を調整する係は決まっていますが、来日エスペランチストの情報を誰でも投稿できる「開放的な」メーリングリストです。このたびの宿泊先探しでも重宝しました。

◆一般に、メーリングリストには、誰でも自由に投稿できる「開放的な」タイプと、事前登録者以外は投稿ができない「閉鎖的な」タイプがあります。

IETK のように「開放的な」ものは、幅広い情報共有や、当の来日エスペランチスト本人を含めた直接のメール交換ができ、国際交流を促します。エスペラント界に数多くのメーリングリストがありますが、「閉鎖的な」ものも見受けられます。交流拒絶のメーリングリストでエスペラントをどう活用しているのでしょうか。

【21】閉鎖的なメーリングリストでおきたこと

来日のスカウトエスペランチストは 2 人とも 21 歳でした。近い年代の若手と交流させたかったので、若手 (JEJ など) にも情報を 5 月には展開していました。

しかし、ジャンボリー現地を除き、若手との交流はほとんど実現できませんでした。「閉鎖的な」タイプの JEJ 会員メーリングリストには直接投稿ができず、情報を受け取った JEJ 役員も JEJ 会員に展開し忘れたのだと、後で聞きました。とても残念な結果でした。

◆JEJ メーリングリストは、1992 年頃のプロトタイプ (私が開設) や、初代メーリングリスト (京都大に設置) は、「開放的な」ものでした。もう過去の話ですが。

【22】エスペラント界の業界用語

エスペラントを外部の人に示すときの心得を学ぶために、ジャンボリー前の 1 年余はエスペラント広報活動に関わるようにしていました。そこで、「業界用語」が広報を台無しにしていることに気づきました。エスペラントの単語や意味不明のカナ書き単語を日本語に埋め込んでしまう悪い習慣のことです。

NHK や文科省で注目され、語学水準の国際標準とみられつつある CEFR。エスペラントの認定もあることで広報材料にもなるものなのに「CEFR 試験」とせず、「KER 試験」と書かれがち。これでは、一般向けには意味不明。WEB 検索でも、CEFR とエスペ

ラントの関係が見出せません。広報効果が台無しです。

◆2015 年のワン・ワールド・フェスティバルでの民泊国際交流についての田平



正子さん講演の質疑で、身内の関係者が発した「エスペランチスト」というコトバを契機に、一般客が退場するのを目撃しました。いまどき、「エスペランチスト」も、一般には業界用語 (怪しげなコトバ) と考えるべきなのかもしれません。

【23】スカウトエスペラント連盟 (SEL) 日本支部

世界スカウトジャンボリーは、1971 年 (第 13 回) が日本で開催されています。当時の SEL 日本支部も協力していました。史料によると「エスペラントを使うスカウトだけの独立キャンプ村」を提案していたもようです。実現には至らなかったようですが。

◆1971 年の SEL 日本支部の提案を野心的だと褒めたたえる人もいるかもしれません。ただ、この提案はジャンボリーのルールを逸脱するものでした。相手ありきで考えるなら、エスペラントの広報方法として、先達の提案の適否をあらためて考えざるを得ません。

【24】スカウト運動には、青少年が集っている

日本のスカウト運動は近年縮小小ぎみですが、まだ 7 万人程度の青少年 (20 歳未満) が加盟しています。現在のスカウトの正課には、エスペラントがなくなっていますが、創始者ベーデンパウエルの理念を振り返る限り、スカウトにとってのエスペラントの価値は続きます。それぞれの運動の目的にかなう領域で、SEL 日本支部は、エスペラント界外向け広報を続けています。

◆広報しているのに若い人が来ないという声をエスペラント界で耳にします。いろいろな理由も耳にします。その理由は本当でしょうか。「魚のいない池で釣りをしている」ことになっていないでしょうか。

【25】スカウト運動とエスペラント運動の共通点

どちらの運動も、若い人たちのために、自らの経験と思考で判断する力を身につけ、良き社会人に育つ機会を作るといふ点が、共通した目的だといえるでしょう。

◆どちらの運動にも、良きスカウト、良きエスペランチストの育成が目的だと狭量なことをいう人たちがいます。これでは育成される本人にとっては迷惑です。

広報活動では、相手の目線に立って、エスペラントが、本人の成長、活動、生活のためにどう役に立つかをぜひ伝えてあげてほしいと思います。(終わり)

関連詞の末尾の“-o, -a”は語尾か、 語根の一部か？(1)

田熊 健二 (奈良県)

表題の疑問について、調べたことを
4～5回にわたって考察します。

いつごろだったか、覚えていませんが、kioの意味を調べるのに小西岳ら『エスペラント日本語辞典』JEL, 2006 (第1版) (『エス日』と略す)と Gaston Waringhien k.a. “Plena Ilustrita Vortaro”, SAT, 1970, 1-a eldono (PIVと略す)を見ていて、見出し語の配列が違うことに気がきました。『エス日』はkioの“o”は語根の一部、すなわち、kioを「語尾なし語」(以後、「語根語」と略す)として扱っていて、一方PIVはki/oとし、“o”を品詞語尾として扱っていました(以後「語尾付き語」を「語尾語」と略す)。どちらの辞書も見出し語は、語根のABC順に、(語尾は無視して)配列されていますので、違いが生じているのです。

(注：単語が接頭辞、語根、接尾辞、語尾などで構成されていれば、語の構成要素の間に区切り記号を入れて示す辞書が多いですが、辞書により区切り記号が違いますので、ここではスラッシュ「/」で示します。そして派生語は主になる意味を持つ語根の派生語として配列されます。語根と語尾を区切らず語尾も全部含めてABC順に配列している辞書もあります。これらの辞書ではkioの“o”が語尾なのか、語根の一部なのかはそれだけでは区別できません)

kiaについては、『エス日』では同様に「語根語」とし、PIVは「語尾語」として、ki/oの語尾-oを-aに変換した派生語として扱いますので、ki/aは見出し語にあがっていません。

他の-o型、-a型関連詞も同様に『エス日』が「語根語」、PIVが「語尾語」の扱いです。その他の-u型、-e型、-el型、-es型、-am型、-al型、-om型は両辞書とも「語根語」として扱っています。表1の関連詞表(Zamenhofa Tabelo)で示すと、マスを塗りつぶした個所が『エス日』とPIVの扱いが違ふところですが、相関詞の配列順はki-型を例にして示すと、『エス日』ではkia, kiam, kial, kie, kiel, kies, kio, kiom, kiuですが、PIVではki/o (ki/2016.6

aはkioの派生語で見出し語ではない)、kiam, kial, kie, kiel, kies, kiom, kiuです(もちろん見出し語は、ABC順に配列されるので、これらの相関詞が続いて現れるのではなく、間に他の見出し語が入ってきます。neni-型だけが他にneni…という語がなく、続けて現れます)。

表1 相関詞表 (意味は省略)

	i-型	ti-型	ĉi-型	ki-型	neni-型
-o型	io	tio	ĉio	kio	nenio
-a型	ia	tia	ĉia	kia	nenia
-u型	iu	tiu	ĉiu	kiu	neniu
-e型	ie	tie	ĉie	kie	nenie
-el型	iel	tiel	ĉiel	kiel	neniel
-es型	ies	ties	ĉies	kies	nenies
-am型	iam	tiam	ĉiam	kiam	neniam
-al型	ial	tial	ĉial	kial	nenial
-om型	iom	tiom	ĉiom	kiom	neniom

最近までは、上記のように認識していましたが、最近nenioを調べていてわかったことがあります。nenioについては特別な事情があり、他の辞書も調べてみますと、辞書によって対応が違い、複雑な様相が見えます。

それでは、個別の辞書を見ていくことにします。

(1) 『エス日』

まずは『エス日』です。『エス日』ではすべての相関詞は、「語根語」ですので、見出し語nenioがあるのは当然ですが、それとは別に接頭辞のようなneni-という見出し語があるのです(注：それぞれの相関詞の意味を持つi-, ti-, ĉi-, ki-という見出し語はありません。neni-だけがあるのです)。

それでは何のためにneni-だけ見出し語にあげられているのでしょうか。

見出し語neni-には「neni-〔nenio, neniaの意味を持つ〕」として4つの派生語neni/aj/o, neni/ec/o, neni/ig/i, neni/iĝ/iが副見出しにあげられています。(これらの派生語、さらに同様の派生語があっても、全部を列挙する必要のないときは、一番使用頻度の大きいneniigiを代表として、「neniigi等」ということにします)nenio, neniaが「語根語」であれば、これらの派生語はnenio/aj/o, neni/ec/o, neni/ig/i, neni/iĝ/iあるいはnenia/aj/o, nenia/

ec/o, nenia/ig/i, nenia/ig/iであるべきです。しかし、これらの形は実際には使われていません (Tekstaro で検索してみましたが、ヒットしませんでした)。注: Tekstaro は、インターネット上の 에스プラントの文例のデータベース (コーパス)。

ところで、見出し語 *nenio* のところには派生語 (『エス日』では派生語は副見出し語を立てます) は採録されていませんが、見出し語 *far/i* の派生語として *nenio/(n)/far/ad/o* があります (Tekstaro では *neniofari*, *nenionfaranta* がヒットします。他の語根との派生語として *neniokaze*, *neniokompreno*, *nenionkapabla*, *nenionsciado*, *neniontaŭgulo* も検索されます)。nenio の合成語は *nenio(n)farado* で代表して、「nenio(n)farado 等」と呼ぶことにします。この *nenio* の“o”は発音しやすくするために挟む“o”ではありません。なぜなら“o”の前は母音の“i”ですから、“o”を挟まなくても発音の困難さは生じません。それゆえ、nenio が「語根語」として扱われていることが明らかです。

したがって「nenio(n)farado 等」を説明するには *nenio* を「語根語」として問題ないのですが、それでは「neniigi 等」を説明できないので、見出し語 *neni-* を導入して合理的に解釈できるようにしたものと考えられます。

『エス日』にはもう1つ語根語から逸脱する語があります。tiajo です。見出し語 *tia* の派生語としてではなく、*tiaj/o* として見出し語に採録されています。そして [tia などの指示相関詞の前半部分の *ti-* と接尾辞 *-aj-* から合成された語] と注記があります。「語根語」*tia* の派生語としての *tia/aj/o* は Tekstaro 検索でもヒットしません。しかし他の見出し語のところには *tia/manier/e*, *tia/spec/a* が採録されています。(Tekstaro では20種もの *tia* の派生語がヒットします) *neni-* と同様に *ti-* を見出し語に立てた方が、統一が取れるように思いますが、該当単語が1つのため、このような措置を取ったものと考えられます。

『エス日』ようにすべての相関詞を「語根語」とした場合、*neni/aj/o*, *neni/ec/o*, *neni/ig/i*, *neni/ig/i* と *tiaj/o* を説明するのに、特別の見出し語や注記を必要とすることになります。

(2) PIV2005

PIV は2003年と2005年に改訂されています。

相関詞の調査をしたのは PIV2005 です。上述したように *o-* 型と *a-* 型相関詞の *-o*, *-a* は名詞語尾、形容詞語尾とし、*a-* 型は *o-* 型の派生語としています。他の相関詞は「語根語」としています。そして *neni/o* には *neni/a*, *neni/aj/o*, *neni/ec/o*, *neni/ig/i*, *neni/ig/o*, *neni/ig/i* の6つの派生語があげられています。さらに見出し語 *far/i* には *neni/far/ad/o*, *neni/far/ant/o*, *neni/far/em/ul/o* の3つの派生語があげられていますが、これらの派生語を「nenifarado 等」と呼ぶことにします。これらは *neni/o* の語尾の“o”を取って、合成したとして合理的に説明できます。

ところで、*i/o*, *ti/o*, *ki/o* については、派生語は採録されていないようです。*ĉi/o* については、*ĉiopova*, *ĉioscia*, *ĉiofaranto*, *ĉiopardona*, *ĉiovida*, *ĉiovora*, *ĉiovendejo* が採録されていますが、*ĉio* とすべて“o”付きです。もっとも“o”を除いて合成語を作ると、近接を意味する *ĉi* と発音上区別がつかなくなります。文字の上では、近接の *ĉi* の場合は *ĉi* の後にハイフン“-”を入れるのが普通です。例えば、*ĉi-semajna*, *ĉi-flanke* など。

「neniigi 等」を合理的に説明するためには *neni/o* だけを「語尾語」とすれば事足りるのですが、それでは例外と見なされかねないので、規則として *o-* 型相関詞全体を「語尾語」としたように見えます。

tiajo については、*ti/a* の派生語として採録されてはいますが、合成語として *ti/a/manier/e*, *ti/a/spec/a*, *ti/a/grad/e* が見られ、これらは *tia*… の形です。前述したように Tekstaro では20種もの派生語がヒットしますが、すべて *tia*… と“a”付きです。また、他の *-a* 型相関詞 *ia*, *kia*, *ĉia*, *nenia* の派生語もすべて“a”付きです。唯一 *ti/aj/o* だけが語尾“a”を取って派生語を作っています。なぜ、*ti/aj/o* だけが *ti/a/aj/o* でないのか説明がほしいところですが、何のコメントもありません。

PIV は「neniigi 等」を説明するため、*o-* 型相関詞を「語尾語」とし、また、*tiajo* を説明するため、*-a* 型相関詞を「語尾語」としているように見えます。*o-* 型相関詞の品詞語尾を取り換えるだけで、*-a* 型相関詞も「語尾語」としたのと同じことと考えることもできますが、PIV が「語尾語」としたのは別の理由によるもので、後述します。

(続く)

Junuloj iniciatis kaj gvidas

Albert Stalin Tancinco Garrido
Fondanta Prezidanto

de Filipina Esperanto-Junularo [FEJ]

今年の関西エスペラント大会と関東エスペラント大会は、合同でフィリピンの学生 Albert さんを招待します。来日に先立って、フィリピンのエスペラント運動についての寄稿をお願いしました。

Ne estas sekreto, ke la filipina Esperanto-komunumo estas gvidata precipe de gejunuloj. Mi jam menciis pri tiu fakto en multaj miaj artikoloj publikigitaj ekzemple en konataj revuoj. Unu el la plej novaj kaj malgrandaj en la mondo (kun nur pli ol 30 homoj havantaj bazan lingvokonon ekde 2013), ĝi ankaŭ estas stranga, ĉar ĝi estis reestablitita pro la klopodoj nur de adoleskuloj, malsame ol multaj aliaj landaj movadoj.

Krom la fakto ke ĝi konsistas el junuloj, la filipina movado fondiĝis en la epoko, en kiu furoras sociaj retejoj – koincide en lando ofte nomita ‘la monda ĉefurbo de socia retumado’. Komunikado per Fejsbuko, interalie, sin prezentas kiel bona (tamen ne egale ideala) anstataŭanto, kiam ne eblas por junuloj renkontiĝi fizike pro geografiaj, financaj, sekurecaj, kaj aliaj kialoj. Tamen, sociaj retejoj ne plu estas nur renkontiĝejoj, sed ili sin delonge malkaŝis kiel bonegan ilon por reklami Esperanton, kapablaj por eventuale instigi scivolemon kaj intereson inter junuloj inter 13 kaj 30-jaraj. Tiun kampon provas efike disponi Filipina Esperanto-Junularo (FEJ), la sola Esperanto-organizo en la lando, donante specifan emfazon al informa agado, farante diversajn informbildojn, kaj lastatempe, GIF-bildojn, kiujn oni vidis kiam oni vizitas nian fejsbukpaĝon. Ĉi tiu kampanjo bele iras kun la

furorado de la relative novbakita Esperanto-kurso ĉe Duolingo*, kiun multaj filipinanoj ankaŭ uzas – ebligante al ili malkovri la lingvon. Lastatempe, efektiva aldono al la nombro de membroj estis observitaj pro la kombinitaj efikoj de la informa kampanjo kaj Duolingo.

Aliflanke, junaj filipinaj Esperantistoj pruvis, ne nur pri Esperanto kiel lingvo mem ili zorgas. Ekde 2015, membroj de FEJ ankaŭ partoprenadas en la movado ‘Staru por Edukado’, nacia movado por alvoki senpagan edukadon specife ĉe publikaj universitatoj, agnoskante ĝin kiel rajton kiun ĉiu filipina civitano devas egale ĝui. Kvankam ni sekvas ian neŭtralecon rilate politikajn aferojn, ni povas interkonsenti, ke ni kiel Esperantistoj donas grandan gravigon al homaj rajtoj, ekzemple rajtoj je edukado kaj lingvo. Tiun ekzemplon ni volas montri, irante surstrate por alvoki por niaj komunaj rajtoj.

Tamen, kovritaj de la antaŭmenciitaj atingoj restas internaj problemoj ene de la komunumo. La fakto restas, ke malpli ol kvin homoj havas sufiĉe bonan lingvokonon de Esperanto. Materialoj kiel libroj ankaŭ malabundas, kaj kvankam FEJ jam ricevis diversajn donacojn dum la lastaj tri jaroj, ankoraŭ estas multo bezonata rilate financojn kaj materialojn. Krome, aktivuloj kiuj emas agadi por la movado vere malabundas, kaj eĉ tiuj kiuj gvidas la organizon ofte havas aliajn prioritatojn krom la movado nia. Tiu manko da aktivuloj kaj materialoj do kaŭzas, ke ne estas sufiĉe da servoj por membroj, tial la organizo iel malsukcesas helpi ilin efike studi kaj lerni la lingvon kaj sufiĉe Esperantumi kun aliaj homoj – efektive stagnante en progreso de la loka Esperanto-komunumo rilate la uzadon kaj plibonigadon de la lingvo. Filipinaj Esperantistoj ankaŭ sin sentas izolitaj de la resto de la mondo, ĉar preskaŭ neniu eksterlandaj Esperantistoj venas al Filipinoj,

almenaŭ por turismi – kio supozeble donus al niaj lokaj Esperantistoj ŝancon por havi la senton de komunikado kun alilingvanoj en la Internacia Lingvo. Do, mi nun demandas: ĉu eble japanaj Esperantistoj volus veni al Filipinoj por ĝui la pejzaĝojn kaj gustumi la kulturon? Ni ĉiĉeranos ilin!

Konklude, dum la infanaĝa periodo de la nuntempa filipina movado, nian ankoraŭ mallongan historion egale kundividis sukcesoj kaj malfacilaĵoj. Tamen, mi devas diri, ke malgraŭ ĉio, kion nun daŭre spertas nia movado, estas vere laŭdindaj tiuj junuloj, kiuj, malgraŭ siaj aĝoj kaj okupiĝoj, povis reaperigi Filipinojn sur la mapo de Esperantujo, post longa tempo de manko. Nun, ni devas koncentriĝi pri plifortigante la fortajn punktojn kaj alfronti la malfortajn – ĉio laŭ niaj kapabloj

kaj strategioj kiel junuloj. Mi, estante la reprezentanto de la filipina movado ekde kiam mi estis 15-jara, scias, ke la florado de ĉiu ajn movado neniam nur dependu de agado de iu unuopulo aŭ gvidanto – sed de la kunlaboro inter homoj kun diversaj talentoj kaj interesoj cele al komuna bono, sendepende de aĝo kaj posteno. Ĉiam de kolektiva agado!

*Komentas la redaktoro:

"Duolingo" estas senpaga retejo por lernado de lingvoj. Oni povas lerni diversajn lingvojn, interalie ankaŭ Esperanton pere de la angla.

第 90 回九州エスペラント大会

5月28日(土) 29日(日)
ルートイン グランティア太宰府

<有料広告>

サハリンと北海道を エスペラントで兄弟の關係に

— クラウドファンディングでの出資のお願い —

サハリンをこの夏訪問し、エスペラントの宣伝をする企画にクラウドファンディング(※)で資金の一部を調達することにしました。すでに参加者は14名で確定し、現時点で参加費・カンパなどで210万円が集まりましたが、現地活動費など75万円以上が不足しています。

ネットのクラウドファンディングのサイト「READY FOR」に申請しています。申請が通ったら、みなさんとそこにアクセスして「サハリンと北海道を兄弟の關係に」をクリックしてログイン登録してください。金額は1万円以上をお願いします。期間は2016年6月1日～7月15日を予定しています。みなさまの出資をお願いします。詳しくは sahxaleno@gmail.com までお問い合わせください。また、どうか急いでこの情報を拡散してください。



北海道エスペランチスト合同サハリン交流宣伝旅団

主催：北大エスペラント研究会 後援：北海道エスペラント連盟、北海道自由エスペラント協会
問い合わせ：sahxaleno@gmail.com ブログ：sahxaleno.blog.fc2.com/

※クラウドファンディング(英語：Crowdfunding)とは、不特定多数の人が通常インターネット経由で他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す、群衆(crowd)と資金調達(funding)を組み合わせた造語である。

Katastrofo! Tertremego!

HARADA Tsukuru [Faro](Kumamoto)

La 14an de aprilo 2016 je 21:26 grandega tertremego atakis gubernion *Kumamoto*, plej forte je grado 7, precipe forte en urbeto *Mashiki* (7) kaj urbo *Kumamoto* (6-). Multege la tertremo skuis, multaj aĵoj saltante kaj flugante falis, kaj el ŝranko multaj glasoj kaj tasoj flugis kaj estis rompitaĵoj. Eĉ la pezaj statuetoj el budaa altaro flugante falis planken. Feliĉe mi ne forte batigis, nur simple libroj falante batis min. Kiam mi hazarde en tiu tempo okazigis voĉkonferencon per Skajpo kun eksterlandaj esperantistoj, subite la tertremego venis. Mi perdis multajn glasojn, tasojn, pupojn kaj aliajn. Feliĉe ŝrankoj ne falis planken. Fakte mia apartamentaro havas maŝinon kontraŭ tertremo, tamen vere freneze skuiĝis eĉ en miaj ĉambroj. Sekvintan tagon la urbdomo permesis, ke ni forĵetu rompitaĵojn kaj difektitaĵojn iam ajn. Mia printilo falis kaj ĝi ne funkciis, do mi devis forĵeti ĝin, kaj krome mi devis forĵeti aliajn aĵojn pli multe: telerojn, tasojn, glasojn, bovlojn ktp. Mi ordigis kaj purigis la ĉambrojn de mia apartamento kaj poste mi iris por aĉeti simplajn manĝaĵojn al supervendejo, sed la vendejo ne estis malfermita kaj nur "convenience" vendejo *Seven-Eleven* estis malfermita, sed ĉiuj manĝaĵoj jam estis forvenditaj kaj nenio restis tie escepte de libroj laj kosmetikaĵoj. Multaj aĉetintoj vice kaj vice staris antaŭ la kasistoj!

Sed poste la 16an de aprilo je 1:25 pli forta tertremego atakis!!! La cifero pri grado preskaŭ estas sama, grado 7, sed magnitudo estis 7.3!!! Oni diras, ke neniam tiel fortegaj tertremegoj dufoje atakis en la historio! En urbeto *Mashiki* estis same grado 7, sed en urbo *Kumamoto* estis grado 6+! En mia ĉambro la supra parto de komodo saltante falis. (La komodo konsistis el du partoj ligitaj.) Mi antaŭe metis multajn

aĵojn sur la komodo kaj ĉio saltante falis. Post la unua tertremego mi metis multajn librojn je alteco de 30cm sur la planko, sed ĉiuj libroj ne nur falis, sed ili saltis kaj disfalis antaŭen, dekstren, maldekstren kaj malantaŭen. Kaj aliaj libroj kaj la libroŝranko apud mia lito falis kaj mi tute ne povis dormi sur la lito. En la kuirejo multaj potoj kaj patoj falis kaj eĉ el la fridujo multaj aĵoj kaj manĝaĵoj elfalis saltante el la fridujo, kaj la planko estis vere malpura. En alia ĉambro budaa altaro iomete difektiĝis. Denove mi perdis plejmulton de gravaj tasoj, teleroj, bovloj kaj donacitaj multekostaj ceramikaĵoj pro rompiĝo kaj kaputo!

Akvo-liverado subite tute ne funkciis dum kelke da tagoj kaj aŭtovojoj ne funkciis pro detruoj de kelkaj vojoj. Feliĉe ĉe mi propangason mi uzas, do mi povis uzi fajron por kuiri manĝaĵojn, sed en aliaj lokoj ankoraŭ oni ne povas uzi naturan gason kaj ie oni ne povis uzi ankaŭ elektron. Multaj blokmuroj estas detruitaj kaj kelkaj vojoj estas "tranĉitaj" kaj difektitaj kaj vunditaj nur pro la tertremego. Plej grave la turisma kastelo *Kumamoto* estis terure detruita kaj oni bezonas multege da mono por rekonstrui ĝin. Oni abunde povis vidi akvon en ĝardeno *Suizenji* kiel lago, sed nuntempe nenie akvo estas kaj multaj belaj karpoj mortis, kaj eĉ varmfontoj kaj varmbanejoj perdis akvon. Ŝoseoj ne surireblas kaj dum kelke da tagoj flughaveno *Kumamoto* ne funkciis. Ja ankaŭ la trajnoj ne bone iris. Ankoraŭ kompreneble tertremoj senhalte daŭras. Nun ĉe mi finfine akvo funkcias kaj mi povas lavi manĝilarojn kaj mi finfine povas bani min. Sed post la katastrofo dum kelke da tagoj mi kaj mia patro tute ne povis forigi merdojn el la kakujo kaj ni devis atendi kelkajn tagojn por lavi manĝilon kaj vestaĵojn kaj baniĝi kaj kuiri manĝaĵojn.

Feliĉe post la unua tertremego mia amiko el gubernio *Ibaraki* sendis multajn botelojn da akvo kaj tio multe helpis por trinki kaj preni

medikamentojn. Poste li sendis multajn aĵojn demandante al kelkaj pakaĵsendkompanioj pri ŝoseoj: paperbovlojn, forĵeteblojn manĝ-bastonetojn, plastajn kulerojn, tujpretajn manĝaĵojn, malsekigitajn paperojn por purigi korpojn kaj pugnojn, tujpretajn nudelojn, manĝaĵojn ktp! Kvankam tio bezonis 3~4 tagojn, ilia helpo multe helpis min. Poste multaj esperantistoj sendis manĝaĵojn, T-ĉemizojn, pantalonojn, kalsonojn ktp. Ĉar mi ne bone povis preni vestaĵojn el la komodo, kiu estas tute senordigita pro la falo. Vere esperantista amikaro kaj la helpoj de esperantistoj estas tre grandegaj kaj fortaj! Mi ne bone povas dankesprimi ilin. Pro la ĝojego mi larmis.....

Ankoraŭ proksimaj vendejoj estas fermitaj kaj mi ne povas butikumi..... Feliĉe kelkaj esperantistaj amikoj demandas, kion mi bezonas. Kaj ili tre helpeme sendas multajn bezonatajn aferojn kaj manĝaĵojn! Eĉ el tute norda parto urbo *Sendai*(仙台) kelkaj esperantistoj tre simpatie sendis gravajn aĵojn! Ili mem spertis tre grandajn tertremojn kaj cunamon en 2011! Ili bone scias terurajn vivojn post la granda katastrofo!

Ankoraŭ senhalte tertremoj daŭras. Jam ĝis la 28a de aprilo 1000foje tertremadis..... En la centro de multaj restoracioj kaj vendejoj estas fermitaj pro detruoj de konstruaĵoj kaj nefunkcioj de natura gaso kaj akvo kaj elektro.....

Do tio estas mia nuntempa situacio kaj miaj ĉambroj ankoraŭ ne estas bonordaj! Sed bonvole helpu gubernion *Kumamoto* per mondojn, ĉar aliaj vere perdis domojn kaj nia grava simbolo kastelo *Kumamoto* tre multege estas detruita kaj ankaŭ aliaj famaj turismaj lokoj! Bonvole helpu nin por rekonstrui *Kumamoto*-n, mi petas! Kaj la registaro rapide haltigu la atomenergian centralon *Sendai*(川内), kiu situas en najbara gubernio *Kagoshima* en insulo *Kyushu* ! (2016.4.30)

La Movado 784

La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La M

岡山で春の園遊会

4月17日、岡山エスペラント会が「エスペラント春の園遊会」を行った。会場は個人宅のログハウスで、今年が3回目。エスペランチストと山陽女子の生徒さん等29人が「鎮魂の歌」を歌い、JRの発煙筒の実演があり、スカイプでネパール・ロシアのエスペランチストと交流をした(写真はp.15)。

来年のつどいは4月16日(日)で、釜石市唐丹の高館さんが来られる予定。問い合わせは岡山エスペラント会事務担当の荒井敏允さんへ。

[←あらいとしのぶ]

ロンドの年次総会

近江エスペラント会

4月16日(土)午後、草津市立まちづくりセンターふらっとサロンにて、会員5人と県内在住のオブザーバー2人(KLEG個人会員とカナダ人)の参加を交えて開催した。昨年の活動報告、会計報告を承認したあと、今年度の活動方針について話し合った。特に今年は、秋に滋賀県で初めての日本大会を控えているため、そのための学力向上、大会会場であるヴォーリズ学園内でのエスペラント愛好会への会員勧誘方法などについて議論を深めた。最後の役員選出では、KLEG委員の交替以外、全員留任となった。

[←大西真一]

吹田エスペラント会

4月23日午後、吹田メイシアター「ローゼンタールいずみ」で年次総会を開催した。会員16人(正会員15人、準会員1人)中、出席6人、委任4人。2015年度活動報告・会計報告、2016年度予算等を承認した。役員は留任。

次いで、11月3日の文化祭の出しもの、5月29日の入門講座について話しあったあと、入門講座会場の下見と打ち合わせを行った。 [←大畑賀代子]

宇治城陽エスペラント会

4月23日午後、南宇治コミュニティーセンターで年次総会を開催した。会員16人中出席10人、委任2人。2015年度活動報告と会計報告を承認、2016年の活動について話し合った。議事終了後、安藤潮さんによる大正琴伴奏で、「浦島太郎」「兔と亀」などをみんなで歌った。 [←会報 Aromo de Teo]

Vortkruca enigmo

Redakcio

Vicigu adekvate 7 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros unu el organoj de animala korpo.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de junio, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retroŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

1	2	3	4		5	6	7	
8			*		9			
10				11				12
			*	13	14		15	
16	17		18			19		*
	20			21				
22			23	24		25		26
27		28						
29				*				
	*				30			

Horizontale: 1. Nobel-premio estis iniciatita laŭ ~o de *Alfred Nobel*.(x) 8. La duonpatrino ~is kaj ĵaluzis belecon de Neĝulino.(x) 9. Tio estas bona ~o!(x) 10. Saluto ĉe disiĝo.(x) 13. Polpo havas ~ tentaklojn.(x) 15. En ĉiu ĉambro troviĝas ~ dek seĝoj.(x) 16. Ĝis ~vido!(x) 18. Kaŝanta sian nomon.(x) 20. *Biwa-ko* estas la plej granda ~o en Japanio.(x) 21. Guto sur folio, kiu estiĝas en nokto.(x) 22. La ekskurso ne okazos, ~ pluvos.(x) 23. La suda poluso estas pli malvarma ~ la norda.(x) 25. La ĵokeo ~is la ĉevalon.(x) 27. Ekonomiko estas scienco pri ~o.(x) 29. ~o estas unu el la rajtoj de laboristoj.(x) 30. Unu ~o egalas al 2.54 centimetroj.(x)

Vertikale: 1. Domo, en kiu oni prezentas muzikon aŭ aktorajon.(x) 2. Sufikso signifanta

"devas esti ~ata".(x) 3. ~io estas lando en meza Eŭropo.(x) 4. Kia la poto, ~ la kovrilo.(x) 5. Pronomo.(x) 6. Romeo kaj Julieto sekrete ge~iĝis.(x) 7. Esti aŭ ~ esti, jen la demando.(x) 11. Mon-unuo en Koreio.(x) 12. Frukto, manĝata ne nur kruda, sed ankaŭ kuirita.(x) 14. Mi dankas al vi el la tuta ~o.(x) 15. Urini. 17. Oni ~is la emblemon de Olimpiaj Ludoj el kvar kandidatoj.(x) 18. Suferi lastajn dolorojn antaŭ morto.(x) 19. Novulo en iu okupo.(x) 22. Double tri.(x) 24. La centa Universala Kongreso havis ~on en Francio.(x) 26. Insekto, kiu jukigas pro piko.(x) 28. Metallo tre valora.

La solvo al la aprila enigmo: TAJLANDO

La ĝustan solvon donis 10 legantoj:

西 千寿子
西 宣子
前藤 寛
平井 倭佐子
馬場 祝栄
荻原 克己
CA
Kacu
武藤 たつこ
水渡 篤子

U	N	I	V	E	R	S	A	L
M	I	L	I	T		P	L	I
B		U	Z		L	I	T	
I	O	M		D	O	N	A	C
L		I	D		K	A	R	
I	G	N	O	R	C			G
K	E		R	E	G		D	A
	N	O	M		U	J		N
A	T	M		A	T	E	N	T

楽しい作文教室8月号課題 (6月20日締切)

- ①彼はいつまで君のところに留まるだろうか?
- ②2年前、彼は銀行に預金した。
- ③彼は銀行から預金を下ろすだろう。
- ④彼自身が来るかどうか知らない。

(ヒント) 留まる resti、預金する deponi、自身 mem。ĉe、demeti を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811

塚本 猛

[電子メール] c_tak@esperanto.ne.jp

(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

Mikspoto (当欄は敬称略)

★ 4月6日付『上毛(じょうもう)新聞』に「被災地の『遺品』写真、文章で紹介」の見出しで、堀泰雄が出版した『震災の遺品』の紹介。「国際共通語のエスペラント語と、日本語でつづっている」と。

[←田平 正子]

★『未来』2016年春号(No. 583)に、郷原宏による評伝「岸辺のない海——石原吉郎ノート3(三) 暗い傾斜」が掲載されている。東京外語学校在学中の記述の中に「校内にエスペラントサークルを組織して…」と書かれ、エスペラントについての説明もある。

[←後藤 斉]



写真：あらいとしのぶ

岡山 春の園遊会(記事は p.13)

関西連盟(KLEG)委員会報告

4月16日(土)、KLEG事務所にて開催。議長：堀田有里(枚方)、書記：大畑賀代子(吹田)。主な報告審議事項は①第64回関西大会②第65回関西大会③第103回日本大会④KLEG賞とKLEG奨学金の対象者決定⑤KLEG活動報告・活動方針等の提案、KLEG定款改定⑥部局報告・ Rond報告等。

訃報

飾森すみ(しきもりすみ)さん

3月4日死去、享年86歳。1986年から神戸エスペラント会会員。40年あまり服飾・染色にたずさわり、第47回関西大会の際には、お土産用のろうけつ染緑星ハンカチ作成を指導した。その後千葉に転居。サンフランシスコの夏期合宿やグレジオン城での催し、フランス・チェコ・イタリアでの世界大会などに積極的に参加していた。

La Movado 784

KLEG 事務局だより

★ 熊本地震に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。まだまだ余震が続いているよう

ですが、1日も早く復興が進むよう、祈っています。

★ 第64回関西エスペラント大会は、6月18、19日堺市の国際障害者交流センターで開催されます。まだ申込んでいない方は、お早めどうぞ。

★ 関西大会には、例年どおりKLEG書店を開設します。約1000点の書籍やCD、DVDを直接手にとって、しかも5%引きで購入できるチャンスを活用しましょう。

また、大会期間中一部の本を値下げ販売する予定ですので、是非お買い求めください。

★ KLEGの出版物で15年度によく売れたのは、やはり15年度に出版されたものですが、一角に前年度に出版された日本国憲法が入りました。

今昔物語集(対訳) 305冊

(関西大会記念品)

考えるエスペラント文法 116冊

日本国憲法(エスペラント対訳) 98冊

La dek bildoj de bovaŝtado 87冊

Ekzercoj de Zamenhof 73冊

上記の数字には、卸売りの部数も含まれています。

KLEG後援会へのご寄付

(2016年4月、敬称略)

堀田有里 3,000円

野々村耀 1,972円

ご支援、ありがとうございます。

今月は、他に矢野啓子さん(神戸エスペラント会)から寄贈いただいた蔵書を希望者に差し上げましたが、その際「海外図書寄贈基金」へのカンパを募りました。その結果、9人から10,200円が集まりました。ありがとうございました。

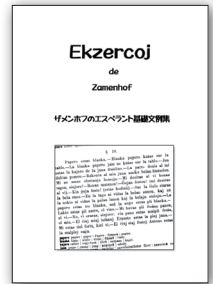
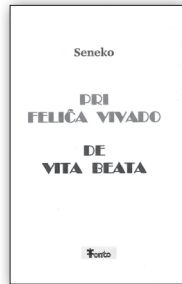
楽しい作文教室(59)成績

15人の方から応募がありました。()内は留意事項です。

うん、良いね：AG, Orion(kvardek), ヒー坊, 水渡, ikona, CA, M.H.

良いね：T.Ku, Eiko(daŭris), Ĉielo, festo(doloro), Fumi, alfa(②, ④複数形に)。

もうひといき：Drako(ĉiutaga), nori(daŭris)。



★ 新刊・新着 ★

Historio de la esperanta literaturo 7500円
Carlo Minnaja k Giorgio Silfer 著。エスペラント誕生から2012年までを通観する浩瀚な文学史。巻末に詩と散文のアンソロジーを収録。宮本正男、上山政夫、黒田正幸、小西岳、伊東三郎、いとうかんじらへの言及あり。B5版、748p。

Dio ne havas eklezion 1600円
津波で大きな被害を受けた島を訪ねたジャーナリストが見たものは……。人気作家 Trevor Steele の最新作。A5判、168p。

Pri feliĉa vivo 1000円
ストア派の哲学者セネカが徳を求める生き方の大切さを説いた『幸福な生について』(I. Ertl 訳)。ラテン語原文を併載。新書判、99p。

Tamen ĝi moviĝas! 1600円
UEA文芸コンクール Eseoj の部入選作からエスペラント運動に関する論文を12編収録。未来を切り拓くヒントがここに。A5判、152p。

★ 学び、深める — タニヒロユキの著作 ★

簡明エスペラント辞典 1400円
タニヒロユキ編著(2013年第2版)。現代人のための新しい実用辞書。見出し語4000。派生語を含めた総語数12500。動詞には活用形を示す。

簡明日エス辞典 1400円
タニヒロユキ編著。初級中級の学習者はもちろん上級レベルの人にもおすすめの日エス小辞典。見出し語11000。派生語を含めた総語数は13000。

エスペラント単語練習帳 1200円
タニヒロユキ著。基本の1300語を効率よく習得。「英語が得意な人の注意すべき単語」等付録も充実。

エスペラントとグローバル化 900円
タニヒロユキ著。「国際と民際」「民際語と積極的中立主義」など『民際語』とはなにかを問う。

★ 在庫から ★

Interlingvo inter lingvoj 2300円

Pri homoj kaj verkoj 1200円
UEA文芸コンクール Eseoj の部入選作から、前者は言語、後者は文芸に関する論文を収録。

Ekzercoj de Zamenhof 300円
「エスペラント基本文例集」。ザメンホフの“Ekzercoj”と“La Feino”を再編集。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

編集ノート



★ 熊本地震で被災されたかたがたにお見舞い申し上げます。幸いエスペランティストで亡くなられたり、重傷の方はいらっしゃらなかったようです。震災が拡大することなく、早くおさまるように祈っています。

★ この号から印刷所を変更し、「有限会社ニシダ印刷製本」に依頼しています。制作費を軽減するためです。購読者数が残念ながら減っている状況の中、購読費を据え置くために、経費を抑える努力をしています。(島谷 剛)

発行所：ラ・モバード社 編集：相川節子 発行人：北さと子 定価280円 送料62円 1年3800円 送料共本局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204

電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp

振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp

九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-8-7 武藤たつこ方 電話 (092) 923-2877

中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 763-0063 香川県丸亀市新浜町2-4-18 小阪清行方 電話 (0877)22-4771